

史跡難波宮跡発掘調査（NW01 - 5次）現場公開資料

平成13年11月10日（土） 11日（日）

大阪市教育委員会
（財）大阪市文化財協会

はじめに

今回の調査地は難波宮跡公園の北東隅部分に位置しています。この公園を中心とする一帯では、1954年から始まった発掘調査によって、大きく分けて前後2時期の宮殿跡が見つかっています。その成果から、今回の調査地には前期難波宮東八角殿院回廊の一部及び内裏前殿の南東に位置する東長殿の一部と、後期難波宮東外郭築地の一部が存在すると考えられていました。今回の調査では、それら遺構の存在を確認し、正確な位置や規模についての知見を得ることを主たる目的にしています。

調査成果

1. 前期難波宮東八角殿院回廊

八角殿院回廊は、前期難波宮の特徴的な建物である八角殿の四方を取り囲むもので、複廊（註1）という形式の掘立柱建物です。八角殿は東西にそれぞれ一棟ずつ存在し、今回の調査では東側八角殿回廊の北西部分（西トレンチ）と東辺部分（東トレンチ）を検出しました（図4）。回廊の桁行柱間寸法は約3m（10尺、1尺=0.292m、以下同じ）、梁行柱間寸法は約2.4m（8尺）で統一されています。ただ、北西隅部（西トレンチ）は東西の回廊と南北の回廊が交わるために、桁行・梁行ともに約2.4m（8尺）となっています。またこの回廊の掘立柱掘形には小柱穴が付属しています。この小柱穴は前期難波宮の主要な遺構に見られるもので、建物の外側に存在し、主体となる柱の掘形を切っていること、柱の抜き穴に焼土が混じることなどが特徴です。今回の調査では、その特徴を再確認することができ、また今回の調査地部分での回廊柱穴と小柱穴の正確な規模・位置などを知ることができました。

2. 前期難波宮内裏前殿南東にある東長殿

内裏前殿の南東に位置する東長殿は、桁行が建設当初16間あったものを北側の5間を取り壊した後、南に約1.2mずらして建て直されたと考えられており、前期難波宮における建替えの事実を物語るものと考えられています。調査では桁行3間分と梁行1間分を検出しました。柱穴のほとんどは近世の土壌掘削の際に掘り返されており、またほとんど残っていないものもあります。建替えの痕跡などは現在検討中ですが、想定通りの位置に建物跡を見つけることができたことは大きな成果といえます。

3. 後期難波宮東外郭築地

後期難波宮の外郭築地（註2）は、後期難波宮内裏・朝堂院部分を外部と区画するためのものと考えられており、東西それぞれで見つかっています。東外郭築地は今回の調査地の北方で確認されており、今回の調査地まで延びているものと考えられています。今回の調査地（東トレンチ）では想定された外郭築地のライン上に掘込みを認めることができたのですが、この掘込みが築地を構成するものなのかどうかは現在検討中です。

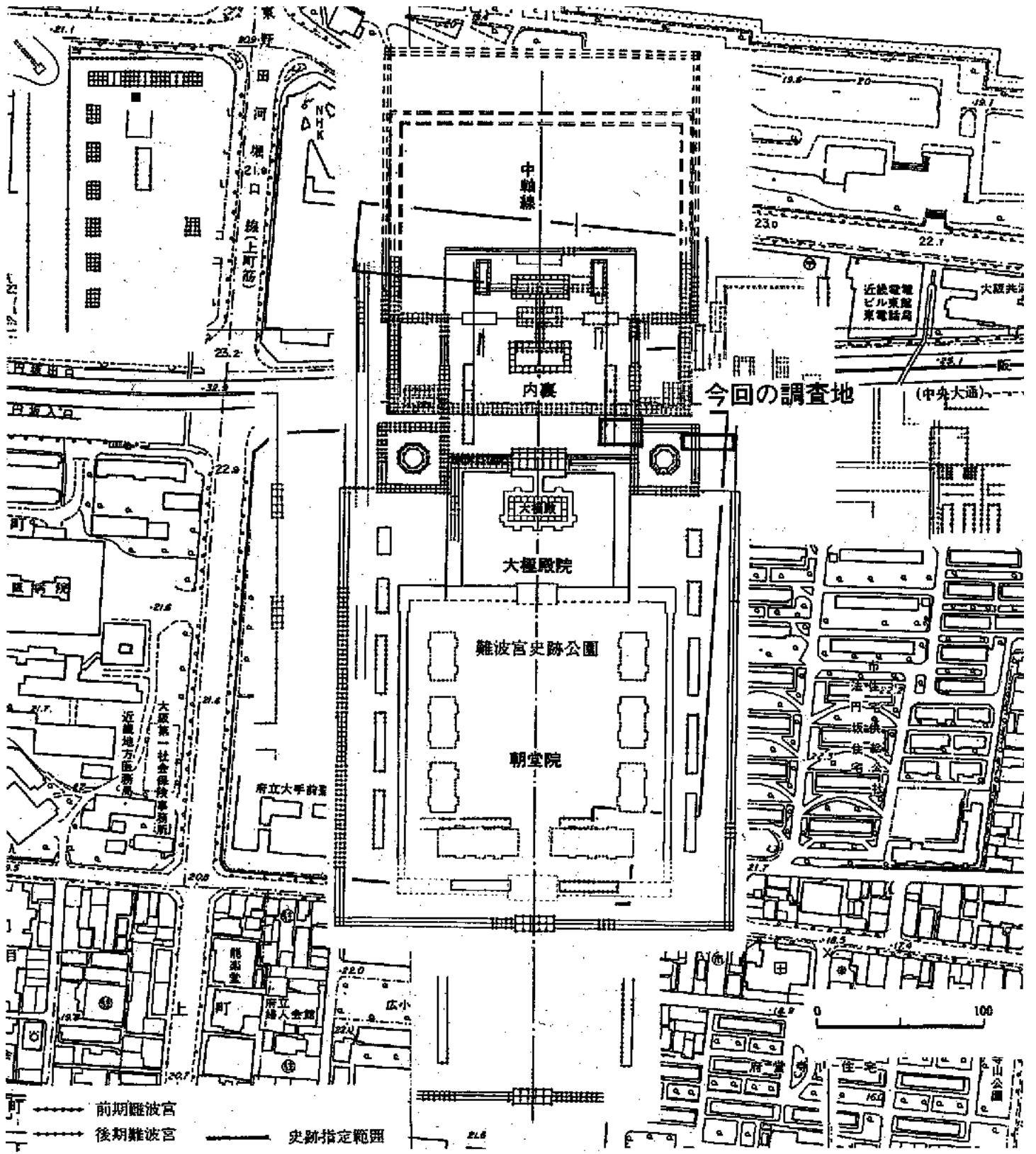


図1 調査地の位置

(註1) 複廊：主として回廊において中央に間仕切り壁があり、それを挟んで両側が廊下になっているもの。
薬師寺、平城宮の回廊などがこの例。

(註2) 築地：粘土を築き上げて造った塀。柱を立て板を添え、その中に泥粘土を打ち込む。飛鳥時代に仏教建築と共に導入された屋根は瓦葺きまたは板葺きとする。「築垣(ついがき)」、「築地塀」ともいう。

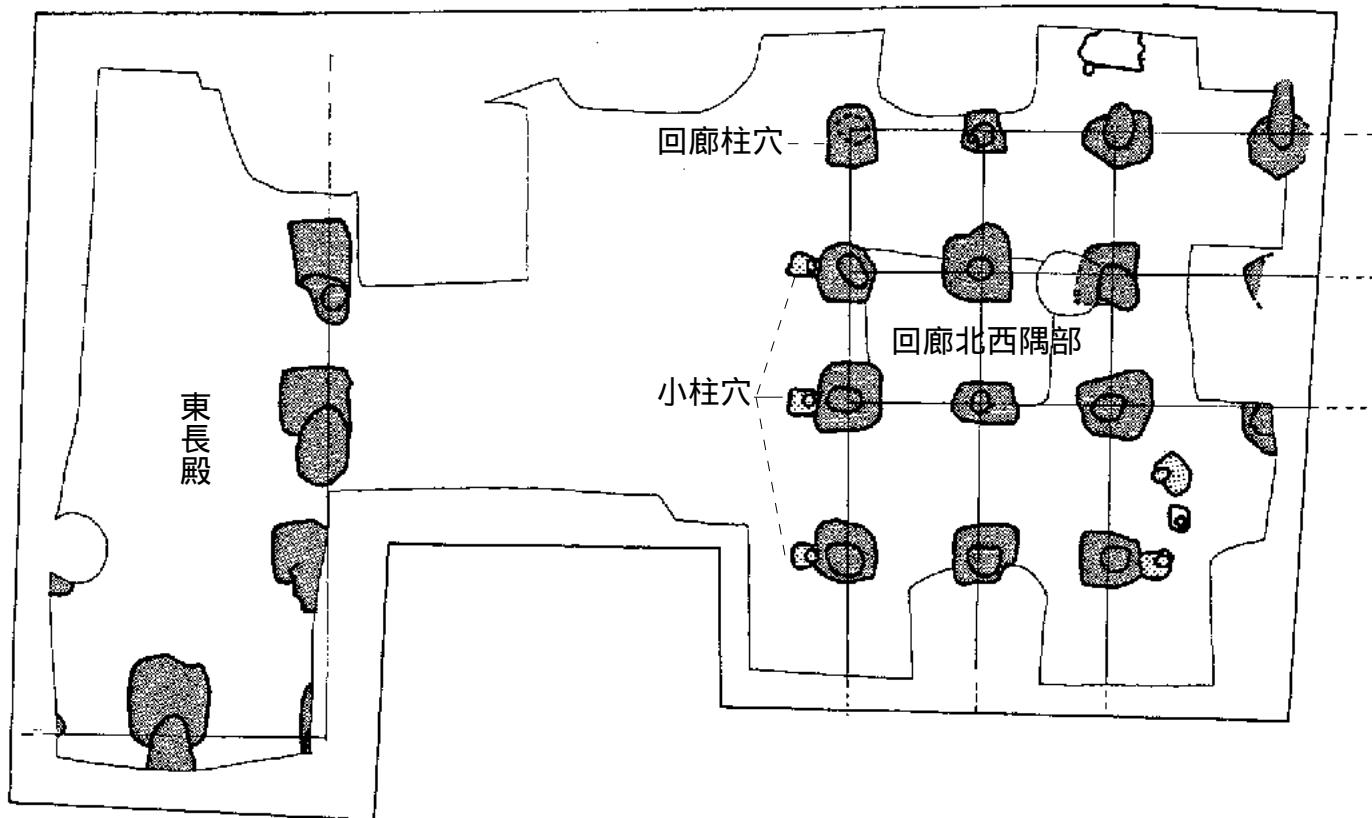


図2 西トレンチで見つかった遺構の概略図

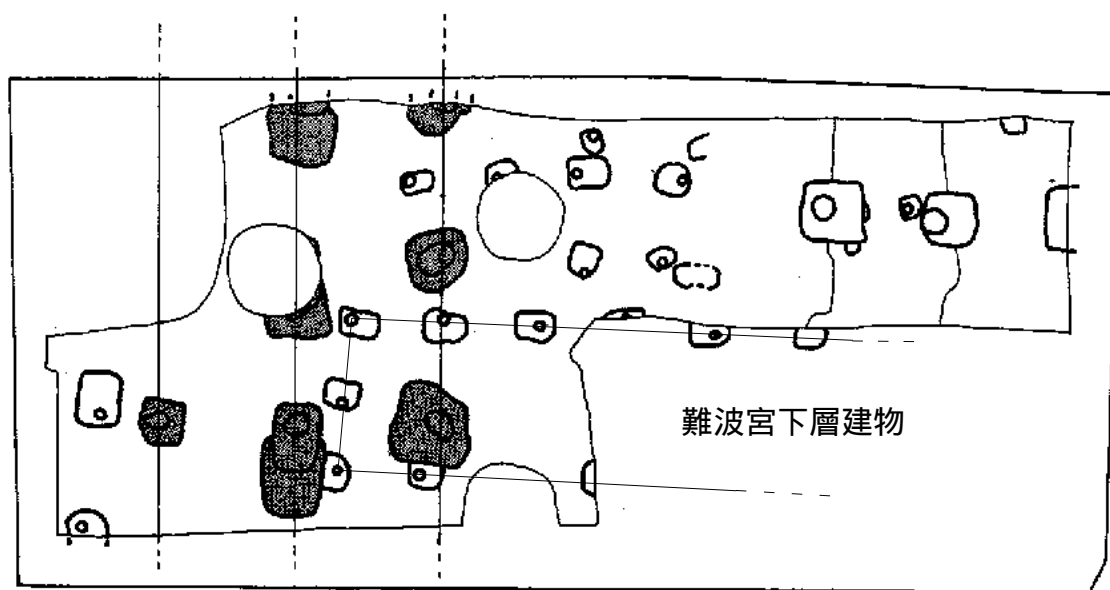


図3 東トレンチで見つかった遺構の概略図

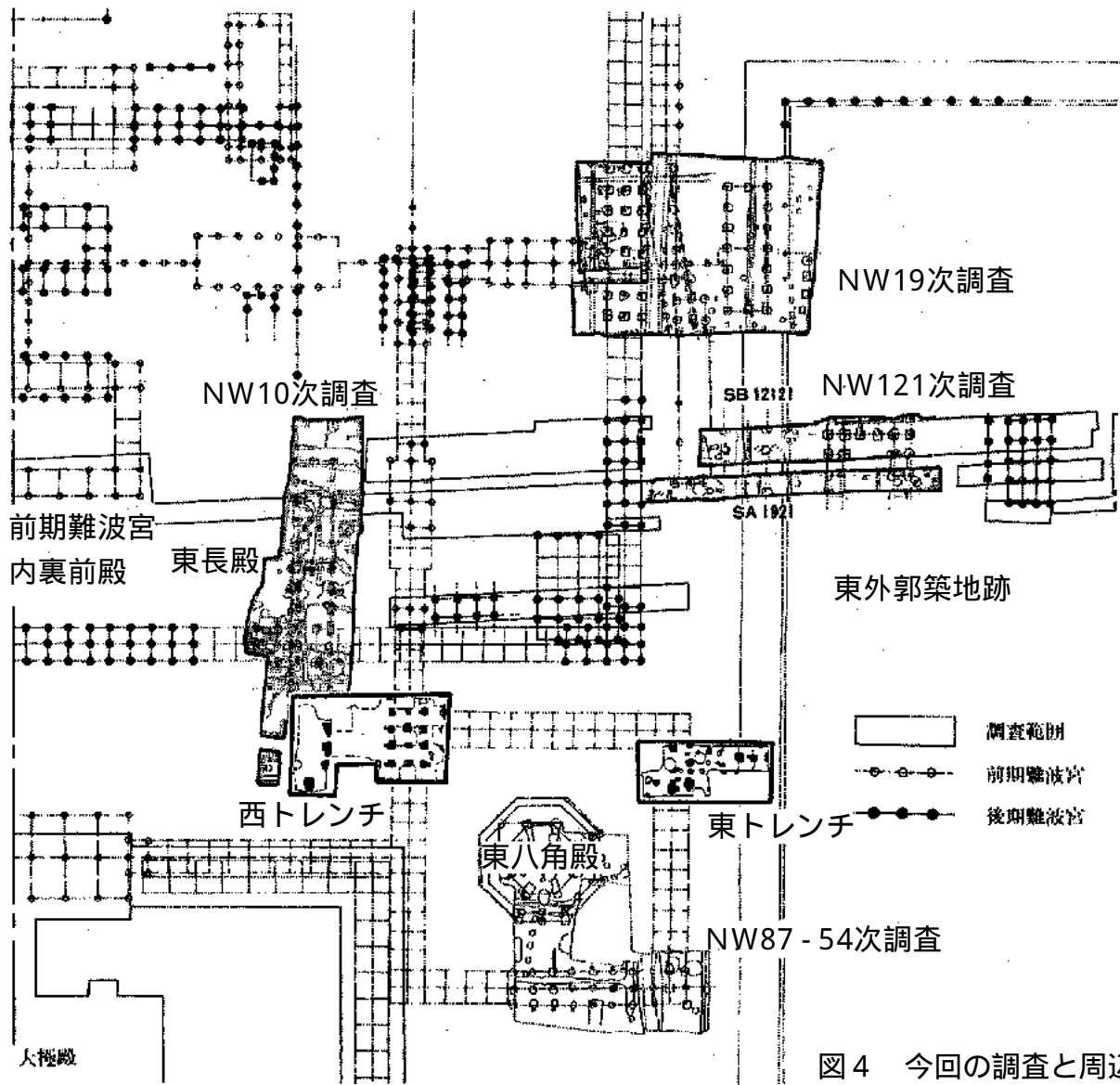


図4 今回の調査と周辺の調査

表1 難波宮関係略年表

5世紀後半	(応神)	難波大隅宮に行幸	仏教公伝(538) 飛鳥寺建立(558) 四天王寺建立(593) 大化改新(645)
	(仁徳)	難波高津宮に都す 大倉庫群がつくられる 以後、難波は外交・西国経営の要地となり、大郡・小郡・三韓館・難波屯倉などがおかれた	
645	大化 1	難波に都を移す この間、子代離宮・蝦蟇行宮・小郡宮・味経宮・大郡宮などの名がみえる	
650	白雉 1	宮の堺の標を立てる(難波長柄豊碇宮の造営開始か)	
652	3	難波長柄豊碇宮が完成	近江大津京に遷都(667)
679	天武 8	難波に羅城を築く	
683	12	複都制の詔	
686	朱鳥 1	難波大蔵(省)から失火、宮室全焼 その後も文武天皇(699・706)、元正天皇(717)、聖武天皇(725)などが難波宮に行幸した	藤原京に遷都(694) 平城京に遷都(710)
726	神亀 3	藤原宇合を知造難波宮事とする (後期難波宮の造営開始)	
732	天平 4	宇合らにものを賜う(工事一段落か)	恭仁京に遷都(740)
744	16	難波宮を皇都と定む	平城京に遷都(745)
756	天平勝宝 8	孝謙天皇、難波宮の東南新宮に御す	
793	延暦 12	摂津職を改め摂津国とする この頃、難波宮廃止か	長岡京に遷都(784) 平安京に遷都(794)